

代表質問から

財政

景気が回復しているにもかかわらず、厳しい財政状況が続いていることを、どのように考えているのか。

県内企業の経営努力や本県の産業振興への取り組み等により景気が好転し、平成十九年度当初予算で県税は二百四十四億円の増収を見込んでいる。

一方で、地方交付税及び臨時財政対策債は百六十五億円の減額となるため、実質的な増収効果は七十九億円にしかならない。

このため、国に対して地方財政制度の抜本的な見直しを強く求めている。

職員の給与削減措置継続をどのように考えているのか。

財政の健全化に向けて、更なる行財政改革に取り組んでいく必要があるため、減額措置を延長せざるを得ない状況にある。苦渋の決断だが、職員には協力をお願いしたい。

空港

羽田空港の国際化の進展をどう考えるか。

県では、今後も「成田は国際線の基幹空港、羽田は国内線の基幹空港」という基本方針を堅持するために、確固たる姿勢を示していく。

また、増大する国際航空需要に対応するためには、成田空港の平行滑走路の北伸整備と羽田空港との有機的な連携の強化が現実的な対応であり、早期に実現できる方策と考えている。

成田空港周辺地域の振興にどう取り組むのか。

国際空港としての特性を活かした地域づくりが大変重要と考えている。

成田新高速鉄道などの広域的なインフラの整備、周辺地域の観光資源を中心とした戦略的なプロモーションの展開や国際観光の振興、国際ビジネス環境の整備などに取り組んでいく。

待機児童

待機児童の解消について、市町村と連携してどのような事業を行っているのか。

県では、保育所が行う長時間保育や乳児保育などの多様な保育サービスに対して市町村を通じて県独自の助成を

行っている。今後も認可保育所の設置促進や、認定こども園制度を活用して、待機児童の解消に努めるとともに、市町村が多様な保育サービスを展開できるよう支援していきたい。

駅近くの保育サービスを提供するための内容は何か。

本年度から、駅前等に設置した保育送迎ステーションで、郊外の複数の保育所への送迎を行う事業を流山市が実施する予定である。

また、駅周辺等で子どもを一時的に預かるパイロット事業を実施することになっている。

今後も、利便性の高い場所での保育サービスの実施を市町村と連携しながら進めていきたい。

硫酸ピッチ

硫酸ピッチの生成の禁止に関する条例を県独自に制定する理由は何か。

本県には、大変多くの硫酸ピッチが不法投棄されており、その量は、全国ワースト一位となっている。

硫酸ピッチは一たん生成されると不法投棄につながり、人体や環境へ悪影響を及ぼすため、生成から厳しく規制することが必要である。

そのため、独自の条例を制定するものである。

地球温暖化

事業活動に係る温室効果ガス排出削減のため「温室効果ガス排出量報告制度」をつくるべきと思うがどうか。

国では、温室効果ガスを多量に排出する事業者は、排出量の報告を義務付けているが、削減計画書の提出が任意であることや県を経由せず直接国に報告されることから、県としては独自の制度が必要と考えており、今年度を目途に制度化を図りたい。

京葉臨海コンビナート

エネルギーフロントランナーちば推進戦略の特筆すべき点は何か。また、どのように取り組んでいくのか。

京葉臨海コンビナートの企業が熱源を共有するなど地域全体として最大のエネルギー効率を目指す全国初の先進モデルを示したことが、企業みずからが地域環境の保全に主体的に参画することなどが特筆すべき点である。

「競争力強化」と「地域との共生」を戦略の柱として、企業や地域のニーズや課題に応じて、取り組んでいく。

農業

「ちばエコ農業」の拡大

にどのように取り組んでいくのか。

これまでの栽培技術の開発・普及、販路の開拓に加え、量販店での年間を通じた豊富な品揃えによる販売促進、エコ商品カタログ配布、消費者へのピーアールの強化など効果的な生産販売対策を実施していく。

入札制度

入札制度について、どのような見直しを行ったのか。

一般競争入札及び総合評価方式を今年の十月から五千万円以上の工事に拡大して実施する。

談合等の不正行為には指名停止期間の延長や損害賠償額の増額を行っていく。

教育

県の公立学校校長をどのように育成し、選考しているのか。

校長には、熱意、愛情、優れた人格に加え指導力、強い責任感、幅広い識見等を有していることが必要である。

そのため、校長候補者全員に研修や企業派遣等を通じて識見・能力を育てている。

また、教育委員会議で審議し決定した人事方針に基づき、教育経験が豊富で資質を公正に判断できる教育委員が校長

の選考にあたっている。

県営水道

おいしい県営水道水のために、どのような対応をしているのか。

塩素注入方式の変更などにより平成二十二年度までに残留塩素濃度を、おいしい水づくり計画の中間目標である一リットルあたり〇・六ミリグラム以下に低減する。

また、平成二十七年までには〇・四ミリグラム以下を目指し、安全でおいしい水の供給に努めていく。

可決・承認・同意された議案

五月臨時会

- ◆条例の一部改正
 - ▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例等
 - ▽千葉県水道事業の設置等に関する条例
 - ◆その他
 - ▽専決処分の承認
 - ▽監査委員の選任(二件)

六月定例会

- ◆条例の制定
 - ▽千葉県硫酸ピッチの生成の禁止に関する条例
 - ▽千葉県県立中学校設置条例
 - ◆条例の一部改正
 - ▽政治倫理の確立のための千葉県知事の資産等の公開に関する条例
 - ▽千葉県県有財産及び議会の議決に付すべき契約に関する条例
 - ▽千葉県過疎地域県税課税免除条例
 - ▽千葉県県税条例
 - ▽千葉県県議会議員及び千葉県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例
 - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例

- ▽千葉県水道局企業職員の給与の種別及び基準を定める条例等
- ▽使用料及び手数料条例
- ▽千葉県個人情報保護条例及び千葉県個人情報公開条例
- ▽千葉県環境保全条例
- ▽千葉県警察基本条例
- ▽千葉県病院事業の設置等に関する条例
- ◆その他
 - ▽契約の締結(三件)
 - ▽財産の取得
 - ▽専決処分の承認

- ◆議員提出
 - ▽議会の議員の報酬の特例に関する条例
 - ◆条例の一部改正
 - ▽政治倫理の確立のための千葉県県議会議員の資産等の公開に関する条例

- ◆可決された決議
 - ▽千葉県県議会情報公開条例
 - ▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例

- ◆可決された意見書
 - ▽東京湾アクアラインでの本年度中に大幅な値下げによる社会実験を行うことを求めることについて
 - ▽茂原樟陽高等学校の工業実習棟建設を求めることについて

- ◆採択された請願
 - ▽東京湾アクアラインでの本年度中に大幅な値下げによる社会実験を行うことを求めることについて
 - ▽茂原樟陽高等学校の工業実習棟建設を求めることについて